



2018年7月19日

## 基幹系システム共同化に関する基本合意について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）および日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長 エリー・キーナン）とともに、2018年7月19日（木）、北洋銀行（頭取 安田 光春）との基幹系システムの共同化<sup>※1</sup>を実施することに合意いたしました。

当行、第四銀行、中国銀行の3行は、2012年に基幹系システムの共同化について合意し、2017年までに順次稼働させておりますが、今般、北洋銀行が新たに参加することにより、さらなる「スケールメリットによるコスト削減」「商品開発・サービス提供のスピードアップ」「システム人材の育成」などの共同化メリットが得られます。

当行、第四銀行、中国銀行、北洋銀行は、伊予銀行、東邦銀行、北越銀行とともに参加する「TSUBASAアライアンス」<sup>※2</sup>において、フィンテックに関する調査・研究のほか、シンジケート・ローンの共同組成、国際業務やアセット・マネジメント業務など、さまざまな分野で連携の幅を広げております。基幹系システム共同化の拡大により、TSUBASAアライアンスのさらなる価値向上を図ってまいります。

今後、2022年度に予定する北洋銀行の稼働開始を目指し、各種機能の開発などを進めてまいります。

※1 当行、第四銀行、中国銀行および日本アイ・ビー・エムが共同で開発した基幹系システムを利用し、各種機能の開発や運用・保守を共同で行う。

※2 当行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上